

益田市市民活動推進協議会

事業名 ● テーマコミュニティとエリアコミュニティの融合による新しい支えあいの仕組みづくり事業

事業概要

地域が抱えている様々な課題を、NPO法人や社会福祉法人等専門的な知識を有する「テーマコミュニティ」と地区振興センターや自治会等で形成される「エリアコミュニティ」の2つの側面から捉え、両者の融合による地域課題解決のための新しい支えあいの仕組みを構築する。

組織体制

益田市市民活動支援センターを益田市と協設協営で行うとともに、当協議会からサポートスタッフを配置することにより、テーマコミュニティとエリアコミュニティのマッチングやコーディネート(地区振興センターと連携)、事業の直接的な手助け、団体相互の情報交換・共有等を行う。

益田市市民活動推進協議会

高津川大学

高津川流域の各参加団体・個人がネットワークを構成し、高津川を核として歴史・文化的遺産の継承・発展を図る。さらに河川の景観や環境等さまざまな情報の発信によって人々が誇れる河づくりや高津川の良さを社会に広め、高津川を中心とするより豊かな暮らし、まちづくりを目指す。

益田市保育研究会

益市内認可保育所の職員で構成する団体で、会員の研修や研究活動を行うとともに、児童福祉の推進を図ることを目的に、幅広く子育て支援活動等を行っている。平成20年度しまね協働実践事業「だれもが安心して育てることのできる地域づくり事業」では、児童虐待が生じるリスクが高いといわれる「障がい児を育てる家庭」「外国人の親家庭」「一人親家庭」の不安感・負担感の軽減を目的にした講演会や親子交流及び親同士の交流の場づくりなどに取り組み、それらの活動は現在も継続実施しており、平成22年度“こころ大賞”を受賞している。

益田まちづくりネットワーク

市内各地で、いろいろな分野でさまざまな活動を展開している団体や個人が、それぞれ特色ある、活動の情報交換を行い、人と人の互いの緩やかな横の連携を図って、魅力あるまちづくりを楽しく進めていくことを目的とする。

NPO法人 アンダンテ21

アンダンテ21はこれまで、まちづくりを進める団体として、地域活性化の学習会や高津川を取り巻く環境の意識啓発、さらに行政への提言などを行ってきました。会員相互の協力と自立性を保ちながら、そしてなによりまちづくりを楽しみながらの活動を通して、住民や関係機関との協働作業も拡大してきています。こうした中で、組織活動の継続性を高めるために法的・財政的な強化を図り、公益の一層の増進に寄与できるNPO法人として、誇れるわが街づくりをめざします。

NPO法人 コアラッチ

あらゆる地域のひとに対して、環境と次世代育成に関する事業を行い、社会に寄与することを目的として活動している。

益田市 経営企画部地域振興課

地域振興課は、自治会やNPOなどの市民活動の支援、地区振興センターの設置、中山間地域対策、定住の推進、公共交通機関の利用促進、防災等の対策や市民の生活安全など幅広い分野を所管している。特に自治振興に必要な施策として、地区振興センターの取組みの推進と市民活動団体の支援は重要と考えている。

連携



- 益田市内各地区振興センター
- 市民活動団体
- 企業等

[連絡先]

益田市市民活動支援センター スマイルデスク

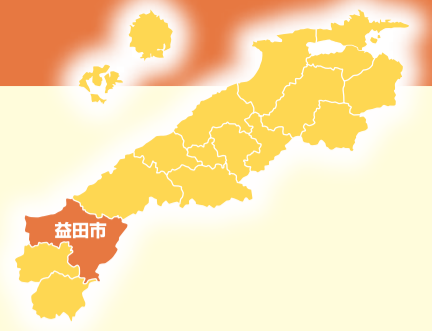
TEL 0856-23-7708

Mail: smile@maro-v.jp

URL <http://smiledesk.exblog.jp/>

益田市市民活動支援センター スマイルデスク
Smile desk





益田市市民活動推進協議会

事業名 ● テーマコミュニティとエリアコミュニティの融合による新しい支えあいの仕組みづくり事業

平成 23 年度事業概要

地産地消の保育所給食事業 (益田市保育研究会)

市内各地で収穫される農産物を、保育所の給食食材として活用し、地域の農業生産能力を高めるとともに、やりがいの感じられる生産を可能にしながら子どもたちが保育所給食で健康に育ち、親が安心して子育てできる地域づくりをする。



「寄付の教室」事業 (益田市市民活動推進協議会)

寄付という手段を活用して、地域コミュニティを支える社会的・公益的な活動を展開する団体（以下「NPO等」という。）の存在を周知することと同時に、子どもたちに出来る社会との関わり、社会性について学習してもらう。



森に入ろうプログラム (NPO法人アンダンテ21)

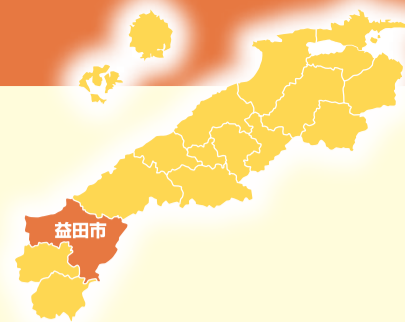
林業の衰退により放置された人工林の現状を知り、人工林の間伐など森林整備を行う体制を構築し、健康な森づくりを推進する。



レジ袋削減活用プロジェクト (NPO 法人コアラッチ)

レジ袋の無料配布中止に伴う事業所の利益を環境活動に還元してもらえる仕組み作りを構築する。





益田市市民活動推進協議会

事業名 ● テーマコミュニティとエリアコミュニティの融合による新しい支えあいの仕組みづくり事業

平成 24 年度事業概要

地産地消の保育所給食事業 (益田市保育研究会)

市内各地域で収穫する農産物を、市内の保育所給食食材として活用する仕組みをつくる。平成23年度とは別の地域・保育所のマッチングの推進。



森に入ろうプログラム (NPO法人アンダンテ 21)

地域住民と意見交換しながら、「森の健康診断」などの活動を行う。



みんなでエネルギーシフト (NPO法人コアラッチ)

生活に欠かすことのできないエネルギーについて共に考え行動する市民を増やし、再生可能エネルギーの自給自足をめざす。



新しいつながりで宝を守ろう!～唐音水仙公園編～ (益田市市民活動推進協議会)

地域の宝を市民の力で守る仕組みをつくり、広く市民に益田市の宝と、それを守る地域性のPRをし、また市民活動への関心や理解を深める。

